

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名 スマイスセレンススポーツ保育園新江

1. 活動のテーマ

<テーマ>

運動・体操

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

新法人となり体操を取り入れる機会が増える事となり、2歳児が身体を動かすことを喜んで行う事で可動域を広げ自信につながる姿が見られるようにと、運動・体操をテーマとする。

2. 活動スケジュール

活動①専属講師による体操の導入

活動②柔軟体操

活動③ジャンプ

活動④マット運動

活動⑤可動域の可能性・自信の変化

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・専属講師の導入
- ・縄跳び
- ・トランポリン

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

専属講師による体操の指導により専門的な身体の動かし方を順を追って行う。

初回は柔軟な動きを中心に行うが、皆興味を示し行っていた。

2回目以降も柔軟運動を取り入れながら、徐々に高度な動きも取り入れていく。

可動域の広がり方や自信のつき方が回を増すごとに増えていることを実感する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・柔軟体操を行い、少しずつ難しい動きにも挑戦したり、道具を使用した動きも取り入れることで飽きることなく夢中で取り組む姿が見られた。
- ・家でもやってみようとする姿があったと保護者からの声も頂く。

画像は別紙参照

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・専属講師を招き保育士目線とは異なる2歳児の身体の動かし方の可能性の広がりを感じた。
- ・子ども達が楽しく取り組んで出来た時の喜びがとても嬉しかったようで何度もやりたがりそれが自信に繋がり、日常活動の中でも「～が出来た!」と報告したり「～が出来たから〇〇も出来るね!」と様々な行動に繋げる場面がみられていた。
- ・専属の講師の都合がうまく調整できなかったり、物品をそろえることが出来なかったため、次年度の2歳児に繋げていかれたらと思った。

初めての先生にちょっと緊張しながら
どんな楽しいことが始まるのか？
ドキドキワクワク



小さく、小さく
小さくなって～



床にべったんこ
たくさん足を広げたよ！



でんぐり返し
家のお布団でもやっ
たことあるよ！



縄跳びへびさん
ジャンプでとび
こえられたよ！



お尻を高く上げて～
お馬さんになれるか
な？



ブリッジに挑戦！
先生に支えてもらったら
できた！！



トランポリンで
高～くジャンプ！！



結構難しい
こんな格好だっ
て出来ちゃうよ

